

令和8年2月6日

保護者様

加古川市立平岡中学校  
校長 松浦幹雄

### 学校評価アンケート結果報告について

余寒の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校教育にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、過日実施いたしました学校評価アンケートにご協力していただき、大変感謝しております。集計結果を下記にまとめましたのでご報告いたします。

学校としましては、本アンケートの結果を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしていく所存です。今後も平岡中学校の子どもたちの健やかな成長のために、一層のご支援とご協力をお願いいたします。

### 記

#### 1 生徒アンケート結果から

- ・「授業の内容は、理解できている」「家庭において、授業の予習や復習をしている」の項目で、肯定的な回答が増えています。特に予習・復習については総計で72.3%と向上しており、家庭学習への意識が高まっていると思われます。今後も、家庭学習と授業を連動させ、さらなる学力向上と学習習慣の定着を目指します。
- ・「生徒会活動や委員会活動は、活発にできた」の項目では、3年生の肯定回答が87.9%と非常に高く、最上級生が活動をけん引しています。また、「休み時間は楽しく過ごせた」についても総計97.4%と極めて高い満足度を示しており、良好な人間関係の中で充実した学校生活が遅れていることが分かります。引き続き生徒主体の活動を推進し、教職員の効果的なサポートを通じて、より活気ある学校づくりを進めます。
- ・「交通ルール等の社会の決まりを守って通学している」の項目では、98.5%の生徒が肯定的な回答をしており、規範意識の高さがうかがえます。地域からの交通マナーに関する苦情を真摯に受け止め、自己評価との差を意識させる指導を継続し、地域から愛され、信頼される生徒の育成に努めます。

#### 2 保護者アンケート結果から

- ・「授業参観・個別懇談会など来校する機会は、よく設けられていると思う」の項目では、肯定的な回答が昨年度より大幅に増加しました。また、「お子さんは、学校に行くことを楽しみにしている」や「お子さんは、善悪の正しい判断ができています」といった項目も昨年度より肯定的な数値が向上しており、学校生活の充実と基本的な生活態度の育成において、本年度の取組がおおむね評価されていると思われます。
- ・「お子さんは、あいさつができています」の項目では、「できる」との回答が昨年度より減少(60.1%→49.9%)しました。また、「お子さんは、毎日家庭で宿題をしている」や「お子さんは、授業の内容や学習について話をすることがある」の項目においても、昨年度と比較して肯定的な回答が減少しています。これらの結果を受け、あいさつなどの基本的な生活習慣については、家庭と連携しながら根気強く指導を継続したいと考えています。学習面に関しては、宿題の在り方の見直しや、授業内容を家庭でも話題にしやすいような情報発信の工夫を行い、生徒が主体的に学習に向かい、その達成感を保護者と共有できるような支援を充実させていきたいと考えています。

#### 3 教員アンケート結果から

- ・「指導計画の工夫」および「基礎・基本の定着と意欲を高める授業」の項目では、肯定評価の回答が90%を超える高い水準を維持しています。昨年度の課題であった「学習習慣の動機づけ」については、今年度も大きな課題であると考えています。家庭との連携を含めたより具体的な授業改善や支援の強化をしていきます。
- ・生徒指導への組織的対応において、困難な課題に対してもチームとして寄り添う姿勢が強まっています。また、「いじめ問題への危機意識」については、昨年度に引き続き職員全員が高い意識をもって取り組んでいます。引き続き生徒一人ひとりに寄り添いながら教育活動を進めていきます。